

# 港湾振興便り



2014. 10

第90号

\*:  
目 次  
\*:

## 1 ポートエッセイ -第48回総会を稚内市で開催-

～日本港湾振興団体連合会会長～

## 2 トピック

- 台湾向け海上冷蔵・冷凍小口混載のトライアル輸送を実施します。

(HOP推進協議会)

- 酒田港インターコンチネンタルタッグ選手権開催

(酒田市 商工観光部 商工港湾課)

- 第6回みなと木更津うみ祭りを開催しました。

(木更津市 企画部 みなとまち推進課)

- 江戸前アサリ「わくわく調査」を実施しました

(関東地方整備局 横浜港湾空港技術調査事務所)

- 博多港振興セミナー／東京を開催

(博多港振興協会)

## 3 お知らせ

\*:

## 1 ポートエッセイ ー第48回総会を稚内市で開催ー

～日本港湾振興団体連合会会長～

\*:

先月中旬、ロシアのモスクワを訪れる機会があった。毎日新聞社とロシア新聞社が主催する「日本ロシアフォーラム」に招かれたためだ。

このフォーラムは昨年、日口関係が最近になく好転した機会を捉えて東京で1回目が開かれ、今回は2回目だ。しかし、ウクライナ問題やマレーシア航空機撃墜事件が起き、ロシアを取り巻く国際環境が厳しくなる中での開催となった。

一時は開催も危ぶまれたが、安倍首相の意向で森喜朗元首相が参加することになった。その影響か、経済界からは佐々木則夫・経団連副会長、霞が関の省庁からは東京五輪を担当する文科省局長らが参加して有意義なものとなった。

森元首相は基調講演で「外交の底流は信頼だ」と語り、北方領土問題はプーチン大統領の「引き分け」発言という新たな視点を大切に、「安倍・プーチン両首脳の間で信頼関係で大きな一歩が実現することを期待している」との内容だった。

地方自治体からは平井伸治・鳥取県知事と私が「極東—アジアとしてのロシア分科会」に出席した。ロシア極東のウラジオストクと定期貨客船で結ばれている鳥取の平井知事は「関西経済圏とロシア極東の玄関口を目指す」と発言。私はサハリンⅡのLNG（液化天然ガス）が日本海側で唯一、新潟県に輸入されている現状や、仙台・首都圏にガスパイプラインで結ばれていることを踏まえ、ロシア極東とエネルギー連携の可能性が大きいことを説明した。

ロシア側から出席したナルイシキン下院議長は日本が欧米と同調しロシアへの制裁を実施していることに強い反発を示しつつ、「日口双方の経済、文化面のイニシアチブが政治の過ちを補える」と今後の日口交流に強い期待感を表明した。

エネルギーをテーマにした私のインタビューをロシアの新聞・イズベスチヤが後日掲載するなど、ロシアが日本を重視していることが実感できたフォーラムとなった。

×

×

今月9、10の両日、北海道稚内市で全国港湾振興団体連合会の今年度総会が開催された。多くの来賓・会員からご出席いただき、稚内市をはじめ地元関係者の大変なご尽力もあって実り多い総会となった。また、講演会ではサハリンを間近に見る稚内ならではの取り組みや再生可能エネルギーの貴重なお話をお聞きでき、大変に有意義な会となった。皆様のご努力に感謝申し上げます。

\*:

## 2 トピック

\*:

●台湾向け海上冷蔵・冷凍小口混載のトライアル輸送を実施します。

HOP推進協議会※

北海道産の新鮮な農水産品等の輸出拡大をはかるためのHOP構築事業は、これまで、荷物1箱から海外に輸送する「HOP1サービス」という冷蔵・冷凍の小口混載輸送サービス等を官民一体となって進めています。本サービスは、航空輸送サービスとなっていることから、単価の低い一次産品にとっては輸送費が割高になってしまうため、より輸送費の安価な海上輸送サービスも求められています。

そこでHOP推進協議会（以下、協議会）では、北海道発の海上の冷蔵・冷凍小口混載輸送サービスの開始に向けて、最初に台湾向けのトライアル輸送を実施することとしました。

トライアル輸送では「長いも」や「玉ねぎ」などの農産品やラーメンのスープなどを積載し、10月20日に苫小牧港を出港する予定です。通常の上小口混載輸送サービスでは1m<sup>3</sup>からの料金設定が一般的ですが、協議会では荷物1箱単位からの料金設定とすることで、小さいロットから誰でも気軽に使えるサービスの構築を目指しています。

今後は2度のトライアル輸送の結果を踏まえ、正式なサービス開始に向けた検討を進めることとしています。



### ◆第1便の積載貨物

※HOP：北海道国際輸送プラットフォーム（HOKKAIDO EXPORT PLATFORM）の略

## ●酒田港インターコンチネンタルタッグ選手権開催

酒田市 商工観光部 商工港湾課

9月20日（土）みなとオアシス酒田 酒田みなと市場特設リングにおいて、酒田港インターコンチネンタルタッグ選手権が開催されました。

同イベントは、「みなとオアシス酒田」の認知度向上と活性化を目的とし、さかた海鮮市場やみなと市場、地元プロレス愛好団体等による酒田港イベント実行委員会が企画し、横浜商店街プロレスで地域活性化に実績のある大日本プロレスの大会が開催されたものです。みなとオアシス酒田で初となるプロレスの開催には、“みなと”の賑わい創出を願う全ての酒田港関係者の協力の元、来年以降も継続するよう、酒田港湾振興会よりチャンピオンベルトが提供されました。

大会は、同選手権の他、計6試合の熱戦が行われ、大日本プロレスのお家芸であるデスマッチや、岸壁際での場外乱闘、マグロの頭を使った凶器攻撃など、“みなと”ならではの攻防が繰り広げられました。また、大会終了後には、全選手・スタッフ参加によるファンとの大交流会も開催され、大いに盛り上がりました。

今回のイベントは、型にはまらない“港おこし”として、普段は港に足を運ばない市民の方にも、港に興味を持つきっかけとなったと感じています。

酒田市では、みなとオアシスの更なる認知度向上・活性化に向け、様々なイベントに協力・支援を行っていきます。



▲大迫力のデスマッチ



▲凶器はマグロ！？



▲岸壁際での場外乱闘



▲初代王者チーム

●第6回みなと木更津うみ祭りを開催しました。

木更津市 企画部 みなとまち推進課

9月14日（日）～15日（祝）に第6回みなと木更津うみ祭りを開催しました。

みなと木更津うみ祭りは、みなと木更津を肌で感じ、海を楽しむイベントとして、日本マリン事業協会や地元関係団体との連携により、木更津市内港公園を舞台に毎年9月に実施しています。イベントの内容は、キッズボート試乗会、カッターレース、ハゼ釣り大会など静穏な水域を活用した体験型イベントや地元の農産物の販売等と盛りだくさんです。

今年は、東京湾の海上清掃及び油回収を行っている「べいくりん」の船内見学も実施しました。



キッズボート体験乗船会



カッターレース



ヨット体験乗船会



プレジャーボート体験乗船会



親子ハゼ釣り教室



稚魚放流



PRブース



舞台



べいくりん見学会

●江戸前アサリ「わくわく調査」を実施しました

関東地方整備局 横浜港湾空港技術調査事務所

平成26年9月23日（火、祝日）に、横浜港湾空港技術調査事務所が管理している人工干潟「潮彩の渚」にて、江戸前アサリ「わくわく調査」を実施しました。この「わくわく調査」は、東京湾のアサリがいつ・どこでわくのかを調べるため東京湾再生官民連携フォーラムが主催し、東京湾の各地（盤洲干潟、葛西海浜公園、千葉ポートパーク、八景島海の公園、野島前浜干潟）で実施されている調査です。

本調査には事務所周辺の親子21人が参加し、東邦大学風呂田利夫名誉教授の指導の下、アサリと他の貝との見分け方を学び、その後アサリの数と殻長を計測しました。6班に分かれて調査した結果、総個数180個、殻長は最小3mm～最大31mmの範囲でした。この調査結果を江戸前アサリ「わくわく調査」の担当事務局である国土技術政策総合研究所海洋環境研究室に報告しました。

当日は晴天にも恵まれ、「子供たちも楽しみながら調査出来てよかったです。」「なかなか出来ない体験をさせていただきました。」との感想をいただきました。

9月末までで今年度のアサリ「わくわく調査」は終了しますが、今後も積極的に取り組んでまいります。



潮彩の渚の全景



調査の状況—1



調査の状況—2



アサリの数と殻長の計測状況

